執筆の手引き—『学校音楽教育研究』（原著論文・図書紹介・海外教育事情）—

I 原著論文

1. 書式

- ・学会ホームページに掲載されている「原著論文」原稿フォーマット（Word）をダウンロードし、上書して使用する。別ファイルを貼り付ける場合は「書式を結合」を選択。「元の書式を保持」にすると、レイアウトが崩れる可能性がある。

2. 原稿仕様

- ・A4版で作成する。B5版で縮小印刷されることを考慮する。
- ・横書き、1ページ：23字×43行、2段組
- ・図表・注・英文要旨含めて12ページ以内

3. 表題・氏名・本文の配置

- ・主題をセンタリングで記載、副題がある場合は主題の下に続けてセンタリングで記載する。1行空けて次の行に執筆者名をフルネーム、その下に続けて所属をセンタリングで記載する。投稿時は執筆者名、所属を墨塗などで消す。1行アケてAbstract（項目はセンタリング、1行アケて英文要旨本文）を記載する。

4. 記述順序

- ・表題 → 執筆者名 所属 → 英文要旨 → 本文 → 注 → 参考文献 → 付記または謝辞（必要に応じて）

5. 英文要旨

- ・英文要旨は200語程度まで、12行程度までとし、執筆者の責任で校閲を経たものとする。

6. 章・節・項の表記方法

- ・章の番号はローマ数字（I II III...）、1文字分アケて見出しを記載する。
- ・節の番号はアラビア数字とドット（1. 2. 3...）、1文字分アケて見出しを記載する。
- ・項の番号は括弧付きアラビア数字（1）（2）、1文字分アケて見出しを記載する。
- ・章、節、項の見出しのフォントはMSゴシック、10.5ポイント、すべて左詰めで記載する。

※詳しくは「原著論文」原稿フォーマットに記載されている例を参考にする。

7. 本文中の英数字の表記方法

- ・本文中の英数字はすべて半角、フォントはCentury、10.5ポイント

※詳しくは、「原著論文」原稿フォーマットに記載されている例を参考にする。

8. 本文中の図表・資料(写真・楽譜等)の扱い

- ・図表・資料は段組中にセンタリング。段をまたいで掲載しても良い。
- ・図や資料のタイトルはMSゴシック、10.5ポイントで図や資料の上、表のタイトルは表の下（センタリング）に記載する。著作権に留意し、図や表の出典を必要に応じて明記する。
- ・ワークシート・アンケートなどを図表として扱う場合は、個人情報の保護に留意し、実践場所、実践時期、実践者、研究倫理的な手続きについて、本文中または付記に明示する。

9. 注の表記方法

- ・本文終了から1行アケて、注を記載する。
- ・注の項目：MSゴシック、10.5ポイント
- ・注の文：MS明朝、9ポイント。本文中の適切な箇所に、○○¹⁾のように上付で挿入し、本文末の注に引用順で列記する。自動脚注は不可。
- ・行間は本文と同じとし、狭めない。
- ・雑誌の場合：著者名（発行年）「表題」『雑誌名/紀要名』発行者名、巻号、掲載ページ番号
- ・単行本の場合：著者名（発行年）『著書名』発行所名、掲載ページ番号
- ・辞典/事典の場合：責任執筆者名（発行年）「表題」編纂者名『辞典/事典名』発行所名、掲載ページ番号
- ・Web情報の場合：責任執筆者名（発行年）「表題」発行所名、URL（最終閲覧年月日）

《注 書き方の例》必ずこの例を参照して執筆してください。

- 1) 音楽一実(1998)「音楽教育の過去・現在・未来」『学校音楽教育研究』日本学校音楽教育実践学会、第5巻、pp.90-94
- 2) 教育一二三(2018)『日本の音楽教育』実践堂、p.13
- 3) 実践一美(2018)「音楽教育の歴史」音楽実編『音楽の事典』実践出版、p.100
- 4) Taylor, W. (1998) *The Music*. Oxford University Press.
- 5) Reime, G. H. (2001) 'Study of Music'. In Jackson, P. (ed). *Handbook of Education*, Macmillan, pp. 400-450
- 6) 教育一音「音楽教育のこれから」音楽教育実践学術研究サークル、<http://www.ongakuedu.com/>（最終閲覧日 2025年1月1日）

※本文中の注番号は、該当箇所の右肩に○¹⁾△²⁾のように付ける。

例. ……と位置付けられている¹⁾。……は次のように述べている。「……………」²⁾。

10. 参考文献の表記方法

- ・参考文献がある場合は、注の最後から1行アケ、参考文献の項目を立てて列記する。
- ・参考文献の項目：MS ゴシック、10.5ポイント
- ・参考文献の文：MS 明朝、9ポイント。2行目以降は1字下げ。雑誌、単行本、辞典、Web情報については、以下の記載例を参照する。Web情報については最終閲覧年月日を明示する。書誌情報が2行以上にまたがる場合は、2行目以降の頭位置を1字下げて記載する。

《参考文献 書き方の例》必ずこの例を参照して執筆してください。
音楽一実(1998)「学校音楽教育における実践的アプローチとは」『学校音楽教育実践論集』日本学校音楽教育実践学会, 第1号, pp. 300-301
Reime, G. H. (2001) 'Study of Music'. In Jackson. P. (ed). *Handbook of Education*, Macmillan, pp. 400-450

11. 付記・謝辞の表記方法

- ・「原著論文」原稿フォーマットに記載されている事項を参考にする。

II 図書紹介・海外教育事情

- ・学会ホームページに掲載されている「図書紹介」原稿フォーマット、「海外教育事情」原稿フォーマット(Word)をダウンロードし、上書きする形で使用する。別ファイルを貼り付ける場合は「書式を結合」を選択。「元の書式を保持」にすると、レイアウトが崩れる可能性がある。
- ・A4版、23字×43行、2段組。1ページ以内(図表・注含む)で執筆する。
- ・その他の詳細については、上記「I 原著論文」の内容に準ずる。
- ・英文原稿の場合は、1ページを超えることがある(邦訳は掲載しない)。

III その他の注意事項

- ・表記の統一を図る(例：子ども、こと(事)など)。
- ・提出前に完成原稿をB5に縮小印刷して目視し、図表等の視認性を確認した上で提出する。
- ・個人情報の保護と人権の尊重、著作権の扱いに留意して執筆する。研究倫理、楽譜・写真等の収録物の著作権使用については所定の手続きを行う。